

## 創立50周年記念事業に向けての準備と 同窓会への御礼

総合科学部創立50周年記念事業準備委員長、総合科学部長  
関矢 寛史

総合科学部同窓会の皆様、いつも多大なご支援をいただき誠にありがとうございます。2024年に広島大学は創立75周年を迎えますが、1874年創立の白島学校をはじめとする広島大学前身校の歴史75年を加えますと150周年となります。その中で、1974年創立の総合科学部はちょうど50周年という記念すべき年を迎えます。そのため現在、総合科学部では、創立50周年記念事業準備委員会を組織し、同窓会理事の田中伸武様と畑尾武海様にも委員としてご参加いただき、事業の準備を行っています。

計画している事業としては、まず2024年7月20日（土）に広島大学東広島キャンパスにて記念シンポジウムを開催し、社会でご活躍の同窓生数名にご登壇いただき、総合科学部で学んだことや、社会に出た後、それがいかに役に立ったかなどを、同窓生・在校生たちと議論していただくことを考えています。また、2024年8月10日（土）にANAクラウンプラザホテルにて記念式典と記念講演を開催し、同日の同窓会主催の記念祝賀会にご参加いただきたいと思います。さらに2024年度末までに50周年記念誌を作成し配信する予定です。

これらの事業に先立ち、去る10月19日に50周年記念を祝うロールアップバナーを同窓会からご寄贈いただき、総合科学部M棟1階ロビーに展示いたしました。多くの学生や教職員の目に入る場所ですので、総合科学部構成員の50周年に向けての意識が高まると期待しています。また、持ち運びしやすいバナーですので、今後のイベントに活用させていただく予定です。ご寄贈に対して厚く御礼申し上げます。



また、毎年、ひろだいそうか基金を通して、同窓会や同窓生個人から多くのご寄付をいただいています。その中から、留学に必要な語学能力試験の受験料の半額を各学生に対して支援させていただいています。これらの受験料は2～3万円と高額なため、留学希望者にとっては大きな支えとなっています。また、学生たちが行う学際的な活動である学生独自プロジェクトに対しては、同窓会からひろだいそうか基金を通していただいたご寄付ならびに総合科学部後援会からのご寄付を活用させていただいています。今年度は、実験室への訪問を通して科学実験の魅力を学ぶOpen Labの企画・運営プロジェクト、地域の魅力を発信する「星の降る宿、音戸にて」プロジェクト、広島市の近代史博物館の現状把握と近代史展示の考察を行うプロジェクト、大学生の隠れ肥満に繋がる食事・運動・睡眠習慣の実態調査プロジェクトが採択され、活動を進めています。ホームカミングデーでも中間報告を行います。さらに12月か

ら学生と教員が気軽に参加できる学際交流イベント「総科カフェ」の開催を始めますが、参加者に無料提供するジュースやお茶などのドリンクもひろだいそうか基金からご支援をいただきます。

また、総合科学部では学部内外の情報交換を促進するために学生たちが編集・出版する広報誌「飛翔」を毎年作成していますが、昨年度と今年度は同窓生の村上清貴様（株式会社村上農園社長）のご寄付により編集・出版させていただいております。村上様にはこの場を借りて改めて御礼申し上げます。

これらの総合科学部の活動に加えて、50周年記念事業を行うために、ひろだいそうか基金や総合科学部への直接のご寄付によってさらなるご支援をいただきたいと思っております。誠に恐縮ながら、今後ご支援をお願いする際にはご検討いただければ幸いです。どうぞよろしく願いいたします。



# 同窓会特報

発行山鏡市  
2023年8月1日  
東広島市1-7-1  
総合科学部  
082-424-6519



総合科学部同窓会は、学部創立7年後の1981年に発会し、現在の会員は約

8千人。年1回の会報発行、5年に1度の名簿発行を続け、現役学生に職業紹介セミナーを開くなど交流も重視しています。理事会は、前

延国治会長(写真・東広島市副市長、1986年入学・環境科学コース)を含め27人(うち15人は広島大教員)で運営しています。

ます。今堀賞は、新しい学部、学問を切り拓いたパイオニア精神あふれる創造的活動を称え励まそうとするものです。50周年を機に賞の理念を固め、寄付金を集

## 集い祝おう

1974(昭和49)年に創設された広島大学総合科学部は2024(令和6)年に満50年を迎えます。学部と同窓会は8月10日(土)午後4時からANAクラウンプラザホテル広島(中区中町)で記念行事を開きます。家族も一緒にどうぞ多数の参加を！

### 学部誕生ビデオ

記念行事は、午後4時から式典と記念講演▽午後6時から同窓会大会・祝賀会を開きます。歴代学部長はじめ新旧の恩師、職員のほか各界の来賓や現役学生にも参加いただきます。総科ならではの多彩な分野で活躍する先輩や仲間たちとの大いなる異業種交流の場となるでしょう。この機に合わせて同期会を企画したり、久々のキャンパスや元キャンパス巡りを楽しんだりしてはいかが。

同窓会では、総科を誕生させた大先輩たちの物語をまとめた映像番組を制作し、上映する予定です。半世紀前、大学改革の嵐の中

## 堀川恵子さん(外国語コース1988入学)講演



記念式典ではノンフィクション作家の堀川恵子さんに講演していただきます。

堀川さんは、三原市生まれで1988年総合科学部入学、外国語コース(英語)履修。92年広島テレビ放送に女性初の報道記者として入社し、原爆・行政・経済問題などを取材。2004年に独立して上京。12年までNHKを中心にテレビドキュメンタリーを手がけ、放送ウーマン賞、放

で新しい学部の創設に心血を注いだ大先輩たちを改めて見つめ直します。

### ● 広大創立75+75年

2024年は、広島大学の創立75年と、さらに前身

## 開拓・学際・創造

### 「今堀賞」創設を検討

同窓会は、総科創立に力を尽くした今堀誠二・初代学部長(1914~92年)を顕彰する「今堀誠二賞」の創設を検討しています。

総科には岡本哲彦・元学部長の遺族の寄付に基づく「岡本賞」(1989年度創

設)があり「学業、人物とも優秀な者に授与」されています。

後に広島女子大学長も務めました。

### ◆ 総合科学部関係年表 ◆

- 1949年 旧制広島高などを包括し広島大学設置(3月16日)
- 1969年 教養部学友会スト▼教養部改革委設置(2月)
- 1972年 総合科学部設立推進・準備委設置(9月)
- 1974年 総合科学部設置(6月7日)▼入学式(7月8日)
- 1978年 1期生78人卒業(3月)▼大学院(地域研究、環境科学研究 修士)設置(4月)
- 1981年 総合科学部同窓会発会式(5月3日)
- 1984年 学部創立10周年記念式典(6月)
- 1987年 4コース制から7コース制へ(4月)▼岡本哲彦学部長学部葬・追悼の会(9月)
- 1993年 東広島キャンパスに移転(1-3月)
- 1996年 学部創立20周年記念式典・20年史発行(6-7月)
- 2000年 8コース制から6プログラム制へ(4月)▼総合科学部後援会発足(4月)
- 2004年 学部創立30周年記念式典(6月)同窓会大会(8月)
- 2009年 学部創立35周年記念同窓会大会(8月)
- 2013年 3領域制(人間、自然、社会)
- 2014年 学部創立40周年記念式典・同窓会大会(8月)
- 2018年 国際創学科(IGS)新設(4月)
- 2024年 学部創立50周年

## そうか基金の支援への御礼

### ■ 総合科学科 佐藤勇太さん

私はイギリスへの交換留学の際に必要なIELTSを数回受け、二年度にわたって二回「ひろだいそうか基金」で支援を受けさせていただきました。一回の試験が大変高額なので、半額の支援は非常に助かりました。この支援がなければ、恐らくIELTSのスコアは達成できていなかったと思います。イギリス留学中は哲学や社会学を学び、自分の専門とは違った別の視点を得ることができました。またもちろん異文化交流なども積極的に深め、大変充実した留学生活を送ることができました。基金のご支援、大変ありがとうございました。



### ■ 国際共創学科 安西舞子さん

IGSの必須留学に向け、より良いスコアを目指して語学試験を数回にわたり受験しました。IELTSやTOEFLは受験料が1回で数万円かかるため「ひろだいそうか基金」からの援助のおかげで負担が軽減しました。現在ブータン王国に留学し、民族衣装を着て人類学の授業を主に履修しています。また、NGOでインターンシップをしており、充実した留学生活を送っています。ブータンでの生活は伝統と近代化が隣り合っており、毎日新しい発見に満たされています。基金のご支援をいただき、ありがとうございました。

## 2022年度寄付金報告

2022年4月から2023年3月までに「ひろだいそうか基金」および「50周年記念事業」にいただきましたご寄付について下記のとおりご報告いたします。皆様からの温かいご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

ひろだいそうか基金	57件	287,900円
50周年記念事業	50件	188,500円

No. C230139 00	
寄 附 金 領 収 書	
住所 広島県広島市鏡山1-7-1	
広島大学総合科学部評議会 殿	
寄附金額 287,900円	
上記のとおり寄附金を受領しました。	
2023年5月25日	
広島県広島市鏡山一丁目3番2号 国立大学法人広島大学長 越智光夫	
広島大学出納担当 財務・総務室財務部 経理グループリーダー 成相和洋	

「ひろだいそうか基金」へのご寄付分につきましては大学で管理するため、5月に「広島大学基金」へ送金いたしました。2020年度からの累計額は1,471,440円となっております。本基金の用途につきましては総合科学部学部長・執行部が今後決定し、様々な学部事業・学生支援に役立てられます。「50周年記念事業」へのご寄付分につきましては2020年度からの累計額と利子あわせて927,741円をお預かりしております。この寄付金は、2024年に開催予定の「(仮称)総合科学部50周年記念大会」の事業費として使用を予定しています。詳細につきましては後日提案させていただきます。

引き続き「ひろだいそうか基金」「50周年記念事業」へのご理解・ご支援をどうぞよろしくお願いいたします。なお、寄付に際して税制上の優遇措置を受けたいとお考えの方は、「広島大学基金」へ直接のご寄付をご検討ください (<https://www.hiroshima-u.ac.jp/yakudou>)。

## 総合科学部同窓会2022年度決算報告書

収入		支出	
前年度繰越金	3,836,942	消耗品費	330
利子	35	事務人件費	40,000
2022年度新入生年会費・入会費 89件	712,000	振込手数料	980
2022年度年会費(銀行振込) 100件	220,025	コンビニ決済取扱手数料	91,740
2022年度年会費(コンビニ決済) 178件	409,400	郵送費(同窓会便り・名簿)	372,553
※2021年度年会費(コンビニ決済) 136件	312,800	印刷費(同窓会便り・名簿)	542,272
※2020年度年会費(コンビニ決済) 116件	266,800		
		次年度繰越金	4,710,127
計	5,758,002	合計	5,758,002

2022年度収支決算について監査した結果、適正に処理されていることを報告いたします。

※2020・2021年度にコンビニエンスストアでご入金いただいた年会費が、取り扱い業者からの入金遅れにより同年の決算報告書より漏れておりました。本年度決算報告書にて修正報告させていただきます。

監査委員 宝官浩之

令和5年6月18日

## 卒業40年目のプチ総科同窓会

畑尾 武海(1979年入学・社会文化コース)

以前から、広島在住の総合科学部の同級生と年末年始やお盆前後に年2回ぐらいプチ同窓会を開催してきた。

皆、現役だったので揃っても5名前後。コロナ禍で3人と言うこともあった。昔は、2次会にカラオケに行ったりもしたが、最近は1軒目でお開き。でも、学生時代の関係性のままでのくだらない会話はこのメンバーだからこそ。

友人の中では珍しく広島の大学院に進み研究者になったAが、福岡の学会へ向かう途中に奥さんと広島に寄ると連絡してきた。彼は広島の修士を卒業した後、東京の大学の博士課程に進み、東京で研究者となった。広島出身ではないので、広島に来ることは無い。そこで、いつものメンバーに声をかけた。すると、なんとフルメンバーが集まった。卒業40年目のプチ総科同窓会。

60歳を超え、現在の身分は様々。完全退職、再雇用、フリー、経営者、パラレルキャリア。60代前半の見本市。

話す内容は、当然学生時代のバカ話。Aの毒舌は相変わらず。やっぱりウケる。でも、私が鉄板のAの恋話をしようとしたら、奥さんの手前、必死に止

めるので武士の情けで思い止まった。

来年は総合科学部創立50周年。我々学部6期生は、共通一次試験の第1期で、それまで一期校、二期校と2回、国立大学の受験チャンスがあったのが、一発勝負になった年の受験。私は、父兄面談で担任から母親が「あんな学部に入ったら、就職が出来ない。」と言われ、かえって火が付いた。よくわからず入った学部だが、何とか40年、社会の一線で働いてきた。誰も褒めてくれないので、自分たちで集まって褒め合いたい。友よ、また会おう。



## ■ ■ ■ 実験研究 装置も手作り

教授 古川 康雄 ■ ■ ■

私の総合科学部との縁は、昭和56年（1981年）に、小林惇先生の研究室に研究生として加わったことに始まる。当時の総合科学部は、広島市内の東千田町キャンパスの一角にあり、学部専門教育、大学院教育（当時は修士課程のみ）に加えて、全学対象の教養教育を全て担っていた。既に西条キャンパスへの広島大学の統合移転が決まっていた中で発足した新学部であったため、新たな教育・研究環境の整備は出来ず、実験系の教授でも常時使える実験室はなかった。小林先生の教授室も学生と共有で、先生と学生の机、本棚、試薬棚、電気生理実験用の機器類等が押し込められていた。ちなみに、私が最初に頼まれた仕事は、壁にむき出しの状態では設置されていた古い分電盤にテーブルタップをつないで電源を増やすという、昔の香港九龍城で行われていたような作業であった。当時の先生方からは、「占有面積当たりの業績数なら他学部に負けないよ」という笑い話をよく聞いたものだ。今ではほとんどの生命科学実験に必要なものは購入出来るし、それが普通だが、当時は必要な装置や器具を手作りするという文化も残っており、電気生理実験に使うアンプ等も自作して使ったものだ。今思えば、手狭な東千田キャンパスでの大学院時代に身につけた、好きな実験研究を手

作りで進めるという態度が自分の方向性を決めたように思う。その後、新設された生物圏科学研究科博士課程で学位を取得し、本学医学部、米国コロンビア大学と渡り歩いたが、研究室にころがっているものを加工して研究に使うことが習性となっており、コロンビア大学のボスには、「1週間25セントで研究する男」といわれたものだ。ニューヨークでの研究生活は刺激的で楽しかったが、総合科学部で生物の助手の公募があるとの連絡をもらい、幾分迷いはしたが応募した。3年間のニューヨーク生活に別れを告げて、平成4年から総合科学部に助手として勤務したが、平成8年に理学部の助教授に採用されて総合科学部を離れた。この時は、再び総合科学の教員になるとは思ってもいかなかったが、平成16年に総合科学部の教授になり、そのまま定年を迎えるまで総合科学で勤務することになった。積算すれば、30年余りを総合科学部で過ごしたことになる。この間、自ら、また様々な気質の学生と共に好きな実験研究を行う日々を送ることが出来たのは望外であった。定年まで半年余りとなってしまったが、もうしばらくは、思いつくまま実験研究を楽しもうと思っている。

## ■ ■ ■ 語り合い深めた言語学

教授 井口 容子 ■ ■ ■

私が総合科学部に赴任したのは1991年でした。そのころ総合科学部はまだ広島市内の東千田町にキャンパスがあり、数年後の移転を控えて、あわただしくなり始めたころでした。日本学術振興会の特別研究員を終えて、はじめての本格的な就職でしたので、どきどきしながら正門を通り、森戸道路を歩いて進んで建物に入って、私の総科での日々は始まりました。

東千田町の時代はまだ研究室にエアコンがなく、夏の暑い日、学食で食べた冷やし中華の美味しかったこと、懐かしく思い出されます。東広島に移転してからは、大学周辺が次第に学生の街として整備され、にぎやかになっていきま

した。その一方で、酒蔵通りの風情のある佇まいの中を歩いたことも忘れることのできない思い出です。

授業科目として担当した、教養教育のフランス語と、専門科目の言語学・フランス語学、いずれも私にとっては新鮮でした。どれだけの数の学生と接してきたのでしょうか。そういえば総合科学部のことは「総科（そうか）」と呼ぶんですよ、と教えてくれたのも学生さんでした。

私の専門である言語学、ことばの研究の醍醐味のひとつは、さまざまな言語現象に潜む法則性を理論的に解き明かすことにあり、その点において自然科学に近いところがあります。その

ような言語学の魅力を、同僚の先生方や学生たちと語り合ったことは私にとって貴重な経験となりました。研究には定年はありません。これからも言語学を始めたころのわくわくするような気持ちを忘れることなく、続けていきたいと思っています。

研究室の窓からは、遠くに山々を望むことができます。夕暮れ時になると、その上の空が薄

紫色に色づいて、何とも言えない美しさです。その風景を見ながら、この研究室で過ごすのもあと何か月かと思うと、一抹の寂しさを覚えます。

私にとって、これまでの人生のかなりの部分を過ごした総合科学部では、先生方、事務の方々、学生たちなど、多くの素晴らしい出会いがありました。感謝を胸に、これからも大好きな総合科学部を見守っていききたいと思っています。

## ■ ■ ■ 生化学軸に「何でもあり」 ————— 教授 山崎 岳 ■ ■ ■

総合科学部には37年間お世話になりました。学生時代に環境化学と酵素化学を修めた後、1986年に「環境科学コース」の生化学の助教として採用していただきました。時機を見て研究分野を環境科学に移そうと思っていたのですが、すぐに所属が「物質生命科学コース」に改組され、最後まで生化学を担当いたしました。そうは言っても、研究内容は酵素化学から環境ホルモン、脳内ステロイドホルモン、重金属の神経毒性、脂質による神経保護作用と、多少環境を絡めながら推移していきました。学会も赴任時は植物生理学会や地球化学会などの所属でしたがいろいろ変遷し、最近日本獣医学会やメンズヘルズ医学会のシンポジストに呼ばれた際には、ずいぶん遠くに来たものだ、と感慨深かったです。研究分野にこだわらなかったのは、総科にいたからなのか、元々こうだから総科の水が合ったのか。副指導を担当した大学院生も、心理学、生物学、自然地理学、砂防学、大気海洋化学、物性物理学と様々で、それぞれかなり突っ込んで勉強させていただきました。ストレスは感じ

ながらもなんとかやってこられたのは、優秀な学生、仲良くやってきた事務の方々、そして同僚の教員たちのおかげです。心から感謝しております。

総合科学部は、当初は唯一無二の学部でしたが、時代が総科に追いついたために日本中で総合系学部が誕生し、各大学で人気学部になっています。総合系元祖として当初は文理融合を「やっていれば」良かったものが、現在はその成果が強く問われています。広大総科の最大の成果である多くの優秀な人材の輩出を、今後どのように外部に対して「見える化」するかが課題だと感じています。

定年にあたり、大学生活は完全に堪能したので、これから「学校とはかかわらない人生」に船出する事に、ものすごくワクワクしています。超アクティブでなんでもありの総科で過ごしてきたので、どのような事態にも対処できそうな気がしています。

今後は遠くから、総科の絶え間ない苦悩と発展を見守りたいと思います。

### ■ ■ 『今堀誠二賞』の創設に向けて

理事会では、50周年大会を記念して、学部の創設者である今堀誠二氏の名前をいただく『賞』の創設について議論を進めています。

目的は、総合科学部の初代学部長今堀誠二先生（1914年－1992年）を顕彰し、学部創設の志を刻み直すとともに、学生のパイオニア精神あふれる創造的な活動を称え、励ますもので、その贈賞対象、推薦・選考方法、賞金・副賞など、同窓会会員の皆様からのご意見をお待ちしております。

現役学生の活動を支えることを通じた世代を超えたつながりは、きっと同窓生間の絆を深め、その活動の意義を高めてくれるものと期待しての取組みですので、積極的にご意見をいただければと思います。

送り先 今堀賞創設検討委員会 委員長 田中 伸武  
e-mail nbtnk@ms10.megaegg.ne.jp

# お知らせ

## 同窓会のホームページ

総合科学部同窓会ホームページでは、新着情報、同窓会からのお知らせ、「同窓会だより」の**バックナンバー等**をいつでも見ることができます。また、住所等の変更もここでできますし、卒業生間の親睦を深めるための「卒業生伝言板」もあります。

皆様ご利用ください。ご意見、ご希望もお寄せください。

## 広島大学基金のご案内

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/about/kifu>

## 総合科学部同窓会

<https://souka-oba.hiroshima-u.ac.jp>

## 同窓会費納入のお願い

我々の同窓会は皆様からの**年会費**で運営されております。同窓会の活動をご理解いただき、本年度の会費の振込を何卒お願い申し上げます。会費振込には、同封の**コンビニ振込用紙**をご利用ください。

会費は、2,000円に値下げしておりますが、一昨年から皆様の利便性を高めるため、コンビニ支払いに切り替えておまして、その関係で発生する手数料等も乗せて300円を加算しておりますので、宜しく願いいたします。

また、このコンビニ振込用紙のバーコードがスマホ決済（PayPay、LINE Pay、auPAY、PayB）に対応しました。各アプリでバーコードを読み取ることでご自宅から入金可能です。この決済は（株）サラトに委託していますので、入金先として「サラト」が表示されますがご安心ください。

## 「ひろだいそうか基金」

## 「総科50周年記念事業」のお願い

振込金額をご自身で決めていただく関係で、郵便局での払込とさせていただきます。各々の金額明細をご記入のうえ、総額を振込んでください。事務局で振り分けて送金、管理いたします。

## 住所変更等（名簿の管理）

**住所変更等**がございましたら、総合科学部同窓会ホームページの名簿変更用フォームよりご送信ください。

- 名簿担当 平山 恭之  
TEL 082-424-6519  
yhiraya@hiroshima-u.ac.jp

## 同窓会の連絡員募集

総合科学部同窓会では、会員の関係を密にし、より活発な活動を行うため、それぞれの**卒業年度から2名程度**の連絡員を募集しています。やってみたいと思われる方は、同窓会広報担当（下記）までご連絡ください。より充実した同窓会活動ができるよう、会員の皆様の積極的なご協力をお願いいたします。

- 田中伸武 nbtnk@ms10.megaegg.ne.jp
- 畑尾武海 TAKEMI.HATAO@hakuodo.co.jp

## 「同窓会だより」原稿募集

皆様からの原稿を募集しています。総科にまつわる**話題**や**近況報告**等を是非お知らせください。記事のリクエストも募集しています。また、「**世界に羽ばたけ、総科生**」と「**退職・転出教員からのメッセージ**」に取り上げてもらいたい人の募集もしています。自薦、他薦は問いません。「同窓会だより」に関する連絡は下記までお願いします。

- 〒739-8521 東広島市鏡山1-7-1  
広島大学総合科学部
- 東谷誠二 TEL 082-424-6546  
seiji@minerva.ias.hiroshima-u.ac.jp
  - 宗尻修治 TEL 082-424-6362  
munejiri@hiroshima-u.ac.jp
  - 山本幹雄 TEL 082-424-4625  
mikiyoy@hiroshima-u.ac.jp